

令和5年度 リーベルネットワーク会議 報告書

1. 開催日時：令和5年9月29日（金）13：30～15：00

2. 開催場所：八女市社会福祉会館 3階会議室

3. 参加者：計 34名

<内訳>

ゆうゆう・さんふらわあ・あるくとぶらす・さら・陽だまりの里・よろず屋・蓮の実園・蓮の実団地・デュナミス・こころ・八女総合療育館・夢と希望・のぞえ風と虹・HIRO キッズ・つくし園・あおぞら・プラムの小径・わーよか・若楠園・筑後特別支援学校・すいれん・リーベル・八女公共職業安定所・南筑後保健福祉環境事務所・八女市教育委員会・八女市福祉課障がい者福祉係・八女市障がい者基幹相談支援センター

4. 議事

(1) 報告事項

① リーベル活動状況報告、ピアサポーターの紹介（資料①）

② 地域生活支援拠点事業「すいれん」活動状況報告（資料③）

【秋山先生より】

- ・医療的ケア児の受け入れ対応は？
→未整備であり、今後の課題。福祉事業所に限らず探していきたい。
- ・事前登録していない場合でも児相が手を引いた時の対応をお願いしたい。
→受け入れについては受け入れ施設が対応できるか、本人の利用希望があるかが前提。
事前登録なしでも受け入れ可の場合もあるが、事前登録があると対応がスムーズ。
- ・県内の拠点連携会議はあるのか？
→年に1、2回意見交換の場あり。

【リーベル井手口より】

- ・県内の拠点事業の設置状況は？
→7割設置、3割検討中。5つの機能すべてが整っている所はまだ少ない。まず、緊急一時事業の取り組みについて整備を行っている。

(2) 協議事項

①「長期休暇中の放課後デイサービス利用について」（資料②）

年々、児童サービス利用者が増加、フルタイムで働く母親も多く長期休暇中の放課後デイサービスについて、開所時間が遅く仕事に行けないとの意見がある。相談ビズケット（指定特定相談事業所連絡会）でも協議を行った。現状把握のために関係機関等より意見を伺う。

【あるくとぶらすより】

- ・一般学童の状況は？だいたい何時くらいのお迎えが多い？
→7：30～18：00まで。18時をすぎると1回200円（上限1000円）。経験上、18時～18時半くらいまでにお迎えの印象。（返答：リーベル）
- ・どこもやりくりが大変だなと思う一方、やるしかないという気持ちもある。色々事情があるだろうし…。

【こんばすより】

長期休みは課題。7時半や8時まで送迎に来てほしいと言われる家庭もある。調整がうまく出来ず、家族ともめてしまう場合もある。学童との併用も提案したことがあるが、経済的な負担が増え、「そ

こまでしないといけないのか？」と言われたことがある。

【さらより】

保護者からの要望があり、今年度から朝は8時から対応するようにした。送りも16時半を17時に変更。職員体制や確保厳しい。折り合いがつかないところは対応しているが…大変さはある。

【HIRO キッズより】

長期休暇中の対応時間を短縮した。

【つくし園より】

保護者の要望は早くから遅くまで。現状、個別で対応できる人が対応するようにしている。

【あおぞらより】

不登校の子の居場所について。学校には行けないが、放デイには行ける子がいた。市からは、適応指導教室に行った日は放課後等デイを利用してよいと言われたが…。適応指導教室にも行けない子がいる。本人の居場所が必要。学校に行けない日も放デイの利用ができれば…。

【秋山先生より】

早い子は7時20分にスクールバスに乗車。学校到着は8時50分。中には仕事をフルタイムからパートに変更した保護者もいる。30年前は共働きの家庭少なかったが今は共働きでないとやっていけない。緊急時の対応受け入れなどはできている。内々で8時くらいから受け入れをしている子もいるが…。社会全体の問題とも感じている。

②「自立生活援助について」

- ・「障害者が一人暮らしを始めた時に、生活や健康のこと、生活をしていく上での様々な手続きなどについて、定期的な巡回訪問又は随時通報を受けて行う訪問によって必要な助言や関係機関等との連携調整などの支援を行い、暮らしの安心、安全を確保していくサービス。」
家族、病院や施設からの一人暮らしに移行する方や、家族はいても実質的に一人暮らしと同じ等の状況にある方が対象。
八女市にはまだないサービス。久留米市で、このサービスを利用している方が、八女市に転入し、利用を開始された。サービス内容の紹介と、必要性等について意見伺う。

【ゆうゆうより】

自立生活援助の計画1件あり。自分からの発信が苦手な方で、本人は「とても助かっています」と言っている。以前GHを退所した方の定着支援をしたことがあるが、緊急時のみの支援に厳しさを感じた。自立生活援助のほうが手厚い。

【わーよかより】

久留米は2か所実施（ポレポレ・ピア久留米）ケースとしてあまり聞かないが…。GHから一人暮らしへ移行した方の対応時に導入すればよかったかもしれないと思った。

【のぞえ風と虹より】

のぞえのGHは基本3か月だが、退所後に調子崩して入院となることもある。もったいないと思う。自立生活援助の活用ができればよいかもしれない。

【若楠園より】

事業として成り立つのかと思う。ニーズを満たすためにどれだけの費用をだすか。母体が潰れては意味がない。事業として成り立つ組み立てができないと手がだせない。

【よろず屋より】

現状計画相談で手一杯。自立生活援助を兼務してほしいと言われたときに両立できるだろうか？と思

う。どんなに丁寧に対応しても計画を立てないと報酬につながらない。委託費で運営している基幹の動きはどうなる？全てをサービスに頼るのは…。サービスの導入は慎重に、本人ができるところはやってほしい。八女地区としてどう動いていけばよいのか、これを機に勉強していかないといけないと思う。基幹として何か方向性があるのか？

→基幹が対応しているケースの中にも自立生活援助のサービスにのせることができるものもあると思う。そうすることで本人にとっては定期的な関りの中で手厚い支援をうけることができ、事業所としては今まで報酬にならなかった動きも報酬がついたり、基幹としても別の方の対応などに時間が回せたりする。皆さんに事業を開始してほしいという話ではなく、意見集約をしたい。(返答：リーベル)

(3) その他 15:10～

① 権利擁護準備委員会について報告

② リーベルネットワーク研修会の案内(11月16日(木)13:30～)

【秋山先生よりこども部会について意見をいただく】

自分の中で「子どもにとって最善の利益とはなにか」がテーマ。児発・放デイも一緒に学んでいきたい。支援を受けている子どもは家、学校、放課後等デイの3か所だけを回る生活。保護者としては安心、安全という気持ちがあるが、果たしてそれで良いのか？もっと地域を知ったほうが良いと思う。インクルーシブ教育を正しく理解しているか？特別支援学校・支援クラスの子が年々増加。筑特の児童も軽度化している。名古屋市はA判定の子しか特別支援学校に入れない、福岡市はB2の子は入れない所などもある。地域の学校でやっていけない？そうではない。地域の学校で伸びる子も沢山いる。

③ 【あおぞらより】

あおぞらの現状について。以前は新規相談の対応に時間がかかっていたが、最近は1週間以内には対応が可能に。支援者のスキルアップのための講師派遣でも利用してもらいたい。